時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セス其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報ヲ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報

六百萬圓の剩餘金

今の政論家が商賣の思想に乏しきは我輩の常に慨嘆する所にして之が爲め間接直接に一國の經濟上に損する所少なからざるを見る可し例へば地租輕減の一事は年來政論家の喋々する所にして既に衆議院の議決を經たる程の次第なれども畢竟商賣の思想なきが爲めにして若しも議會の人々が米の賣買なり生絲の取引なり商賣上の利害に注意し隨時その邊の處置を誤らずして兼て又官民間の繁文を除くの工風さへあれば國の經濟上に益する所少なからずして人民の私に於て間接に竊る所の其餘澤は單に地租五厘の輕減に止まらざることならん然るに其人々に絕えて此邊の考案なきは誠に遺憾の至りにして我輩は今回豫算案の議決に就て殊に其事實の著るしきを認むるものなり抑も廿四年度の豫算案は議會にて種々の修正を經たる末、遂に政府と協議の上其歲出に於て六百五十餘萬圓を節減して歲入には毫も修正する所なく單に歲出を減じたるものなれば此六百五十萬圓は即ち剩餘金として國庫に積置き本年度中に於ては如何なる事情あるも使用すること能はざるものなり蓋し議會の本意は地租の輕減を目的として右の節減を爲したることならんなれども元來地租輕減の事たる容易に行はる可らざるものにして好しや衆議院に於て議決するも貴族院に如何なる異議あるやも計る可らず然るに實際の決着をも顧みずして輕卒にも斯る節減を爲し政府にても亦これに同意したるは雙方ともに輕忽の譏を免れざるものなれども其は兎も角もとして扨この餘剩金の始末は如何にす可きやと云ふに之を來年度に繰越す外に道なきものにして固より豫算の事なれば實際支拂の上にて過不足あるは免れざる可しと雖も豫め剩餘金を見込みて政府の歲計を組立るの談は古今東西の事例に於て未だ聞かざる所なり元來政府の歲入なるものは國中の流通貨幣を引上げて之を一處に集むるの媒介たる可きが故に其支拂の方法、宜しきを得ざるときは世間の金融に非常の影響を及ぼすは勿論、若しも巨額の剩餘金を生じて之を國庫內に密閉することもあらば金融市場の恐慌一方ならざるものある可し西洋の經濟學者の言に英國にて二千萬磅の金を英蘭銀行の金庫に藏むることもあらば倫敦市場の金融は忽ち逼迫して英國の商賣上に容易ならざる景況を呈することならんと云へり我本年度の剩餘金は僅に六百萬圓の額にして且つ納稅の期限等もあれば實際に於ては其六百萬圓も終始國庫內に蟄伏するものに非ざる可しと雖も現に會計年度の終に至れば其全額を國庫に見るものにして若しも折も折とて其時期に至り世間に金融の逼迫を告ぐることもあらば六百萬金の蟄伏も猶は多少影響する所なきを得ず左れば國の經濟の任に當るものは六百萬圓の金額と雖も決して輕視す可らずして其收支の方法は大に注意を要するものなり即ち我輩の持論たる我航海業の獎勵費に用るか、若しも一時に英斷の勇なくば取敢へず公債の償還又は其他の事業費にして國の生産に關するものへ差向く可き筈なるに議會の人々は單に地租輕減の一方にのみ熱心して他を知らず唯一直線に進行したるが故に却て斯る不都合を見たるものにして畢竟その人々の平生に商賣の思想なきが爲めなりと云はざるを得ず或は右の剩餘金は些少の額にして之が爲めに金融上に大なる關係もなかる可しと云ふ者もなからんかなれども其始末の次第に至りては商賣上の精神に背くものと云はざるを得ず既に國を開て海外に對し國家の生存を謀るには眼界を廣くして商賣の要を忘れざること國民の本分なる可し

官報

〇大藏省告示第六號

一金一萬圓	四分利付新公債元金
一金一萬圓	六分利付金札引換公債元金
一金一萬圓	六分利付金札引換無記名公債元金
一金一萬圓	五分利付金祿公債元金
一金一萬圓	六分利付金祿公債元金
一金百三十萬圓	七分利付金祿公債元金
一金一萬圓	六分利付起業公債元金
一金一萬圓	七分利付中山道鐵道公債元金
一金一萬圓	五分利付海軍公債元金

右二十四年度歲計豫算ニ據リ償還ノ爲來ル四月中抽籤執行ス

但抽籤ノ都合ニ依リ償還金額ニ多少ノ增減アルヘシ

明治廿四年三月廿五日　大藏大臣伯爵松方正義

雜報

〇朝鮮近報（京城三月十六日發）

故河北公使の遺骸　故辨理公使從四位勳三等河北俊弼氏の遺骸は昨十五日午前八時公使館を發したり當日國王より內官を勅使として三湖まで差遣はしたるのみならず統營壯衛より四百名の兵士を出して內二百名は三湖まで、他の二百名は仁川迄護衛せしめ其指揮官には親軍大將李鐘健氏が當る筈なりしも氏は當時待罪中なるを以て米國教師ニンステット氏が代理して仁川まで行けり而して外務督辨を始め數多の高等官、各國公使、領事、朝鮮政府の雇外國人及我官民一同も見送の爲め來會し其數凡そ一千人に及び中々盛なる行列にて城內より三湖迄見物人は頗る夥しかりき

公使館書記生大石氏　は故河北公使の迎送艦海門に乘組みて一時歸朝し馬關に出張せる外務官吏に諸事を引渡す都合となれり

李鐘健氏の待罪　親軍大將李鐘健氏が四五日前より門外に放逐せられ待罪中なる事に付種々の說をなす者あれ共聞く所に據れば氏の罪と云ふは他にあらず過日行幸の際一人の承旨が勅命を帶びて陵內へ馳する折柄軍隊を遮ぎりたるを以て之を罰したれば王命を辱しめたりと云ふにある由なれば格別の事なくして免さるゝならんと云へり

馬山浦の礦山　は關係人の多き礦山なれ共朝鮮政府は自から開掘に着手する筈にて昨今準備中なり今回國王の信任する別入侍趙義淵氏を昌原府使に特任したるも右の都合に關する次第ならんと云ふ

論旨に應じ難し　前報せし如く長井氏等が來京の事に關して種々の風說あり韓政府部內にても一方ならぬ紛擾を起し袁世凱氏の如きも之に注意して爲す所あらんとするなどの說もあれば其筋にては注意の爲めにとて當國の權門家を訪ふ時は先づ紹介を得る事となすべき旨を諭せしに長井氏等は之に應じ難き旨を返答したる由にて聞く所に據れば氏等を退韓せしめんと主張するものも有りと云ふ

商船會社の人氣　商船會社が釜山仁川へ漸く航路を擴張せし以來殊に商物船客等の取扱に注意するより益々人氣を增し商船會社に望を屬する者多ければ共仁川への航路は韓政府との特約船隅田川丸のみにて定期の航路未開なれば一般人の協議を以て定期船の開航を商船會社へ請求する筈なりと

清國の擧動　清國軍艦が南海の要害なる一嶋を占領したりとの說あれ共韓人中には未だ之を明知する者なく唯清艦數艘を以て占領せんとて探索中なりと云ふのみ然るに目下數艘の英國軍艦が巨文嶋に碇泊する事實に加へて右の如き清艦の擧動あるは如何なる次第なるや

〇甲武鐵道會社の臨時總會　明後二十八日日本橋區坂本町銀行集會所に於て同會を開き先頃認可を得たる新定款により從來の重役を改撰して委員を置くこと及び新宿三崎町間線路延長に對する興業費募集方法を協議するといふ今其豫定書を得たれば左に揭ぐ

新宿三崎町間延線に對する興業費募集方法豫定の趣意

新宿三崎町間鐵道延長の議は先きに本免狀の御下附を出願したれども爾來未だ何分の御沙汰を得ざるは乃の筋に御都合もありての故なるべけれは本社は謹て御許可の日を待つの外なきなり然れども乃の興業費募集の方法は一朝本免狀御下附の日に遭て始めて之れを定むるが如きは以て能の得たるものとすべからず殊に乃の筋に請ふて本免狀の御下附を迫るの場合に於ては豫め之れを定め置くこと最も肝要なるべし加之其の募集方法の事たる昨年六月の臨時總會に於て新株を募るか社債を起すかは入用の時に當り更に總會に問ふて決すべき旨を議了せし機乃の後數閱月の久しき尚ほ定むる所なきが爲め今日經濟上本社の意向如何に付往々危疑の念を懷くものあるに至れり尤も世評の如何は敢て本社に關係する所なきが如しと雖ども目下計畫中なる夫の川越鐵道の如き又青梅鐵道の如きは何れも本社の線路に連絡せんとするものにして乃の本社に連絡を望む所以のものは他なし我三崎町線の必成を期すればなり故に本社の延線果して成ると聞かば川越鐵道の計畫も必ずや歩を進めて神速其成立を見るに至るべし青梅鐵道の如きも亦應さに之を企圖するものあるべし而して是等支線連絡の上は自他を益する實に測るべからざるものあらんとす然るに延長線の成否今にして尚其歸著する所を知らざるに於ては現に本社に連絡せんとして計畫しつゝあるものと雖も爲めに稍く疑懼の念を生じ終に其成立を妨ぐるなきを欲せず況や又將に連絡を企圖せんとするものをや抑も三崎町の延線が本社に與ゆる所の利益は當初本社の意想外に出で別に新利源を誘起し來りしこと以上述るが如きものあるを以て一旦新三崎間に線路の開通を告るに至らば現今の線路も茲に從來の面目を一新して更らに幾倍の活氣を加へ獨り公共の利便を與し益々本社の福利を進めて以て永く社運の旺盛を極むべきや疑を容れざる所なり且つ本社は前日の總會に於て業務自營の端緒を開かんことを期したり而して此事の利害も亦延長線の成否に依りて大に熟慮を要するものあるが如し然るを萬一にも此延線の事成らざるが如きあらば本社は啻に得べきの利源を失ふのみならず依然新宿八王子間に萎縮して徒に自營の策に苦まざるべからず是れ本社が本免狀の御下附なき今日に於て先づ興業費募集の方法を定め以て徐ろに計畫の實を擧げんとする所以なり

近時世上の經濟事情は株金の募集に便ならずとし既に或る鐵道の如きは其工事を中止せしやに聞けり如何にも金融逼塞の今日に方りては其時に於て布設せんとする所の線路と既成線路との關係如何を査察し宜しく中止すべきは之を中止する素より可なり然れども我三崎町線の如きは其成ると成らざるとは本社營業の消長に重大の關係を有するは爭ふべからざる事實にして且つ今に於て審て金融事情の難局を凌ぎ以て一日も速に成功を期するに非れば或は恐る機運一たび去りて終に復た來るなきやを思ふて茲に至れば本社の爲めに發和措く能はず則ち今般興業費募集方案の議題を提出するに際し特に附記して各位の高慮を仰ぐこと如此

〇輸出に適する米　近年九州中國地方に於ては輸出米に適する米作頗りに流行し白玉米と云へる稻を作れり此種は粒大に白色にして味も好ければ外人の嗜好に適するよしなり

〇日本運輸會社の解社　橫濱居留地九十八番館に設立しありし同社は今回都合により解社し同社附屬の物品は總て皆猶逸人ヘルム氏に引渡したり

〇早製茶輸送取締の請求　駿遠地方の茶業者か一番二番を爭ひ新茶を早く出すを以て一種の名譽とするの弊

害は近年非
橫濱に輸送
茶は單に早
を米國に輸
のみならす
靜岡縣下の
合に申出た
每年新茶
濱に輸送
右に付一昨
は素より贊
と

〇米國人の
るに中に米
國の女子は
とを現す著
るもの〻清
あり良人は
との意あり
於て代々金
見物に歐洲
右は近頃新
し純金玉入
育府內の
ありと云ふ
自由なり
何ぞ撰ば
がら之に
み見築わ

〇普漏西
稅豫算表
ップ砲製
百萬マー
ヤイルド
エデル男に
二萬マーク
歲入百三十
と云ふ

〇磐梯山の
近村の獵夫
と思ふ大獸
器を携へ或
を探り廻り
を見れば必
結び岩口よ
んて飛出
口揃へて發
を振ひ銃を
れ危く逃が
ら猿の如く
尺餘にして
買入れど
る旨岩代國

〇中外商業
新報は昨一
ての記事を
け一層其特

〇新
濠洲及印度